

# 第62回 全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会

2024年6月8日(土) 11:30 競技開始 (63.2km)

## 第9回 全日本学生選手権

## 個人ロードタイムトライアル自転車競技大会

2024年6月9日(日) 9:30 競技開始 (男子31.2km・女子25.2km)

埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷特設コース  
発着点:旧おとね童謡のふる里室前



主催：日本学生自転車競技連盟

共催：公益財団法人日本自転車競技連盟

後援：国土交通省 利根川上流河川事務所  
羽生市教育委員会

協賛：公益社団法人全国競輪施行者協議会

井上ゴム工業株式会社

株式会社パールイズミ

大会当番校：日本大学

一般社団法人埼玉県自転車競技連盟

加須市 羽生市

一般社団法人日本競輪選手会

WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

株式会社 JPF





WINNIG ACTION  
WINNIG SPIRIT

WIAWIS

### VENTER

単純軽量化だけではなく、フレームの剛性と耐久性を向上させた最新テクノロジーグラフェンカーボンバイク。



### WAWs PRO XP

ハイクオリティなグラフェンカーボンを使用し、空力に優れたエアロダイナミックバイク。RADICALに比べ時速50km時に20w(当社比較)の削減に成功。



### RADICAL PRO XP

WIAWISが開発したハイクオリティなグラフェンカーボンを使用し軽量で加速性能に優れたオールラウンドバイク。ヒルクライムやクリテリウムに最適。



### XUN

WIAWIS独自設計のハイコストパフォーマンスバイク。コンパクトなフレーム設計から幅広いユーザーにも対応。



### TXT PRO

WIAWISの最先端技術から生まれたトップアスリート向けモデル。オリンピックや世界選手権など世界を目指す1台。



### TXT REV9

中距離種目を想定したジオメトリと、剛性を調整した、幅広いユーザーに対応したモデル。



### TXT REV9 SD

瞬間的なパワーを受け止め、ライダーの力を推進力に変える短距離向けモデル。



### HB-MDAS

優れたグリップ感で安定した走行と操舵性が向上させたハンドルバー



### HB-TK

瞬間のパワーを素早くスピードに切り替え、安定した走行能力を実現したハンドルバー

### STEM



### ST-TK



### ST-TXT PRO

日本取扱会社 **TAKIZAWA**

[http://www.takizawa-web.com/shop-frame23/wiawis/wiawis\\_top.php](http://www.takizawa-web.com/shop-frame23/wiawis/wiawis_top.php)  
[cycle@takizawa-web.com](mailto:cycle@takizawa-web.com)

WIAWIS本社

[www.wiawis.com](http://www.wiawis.com)

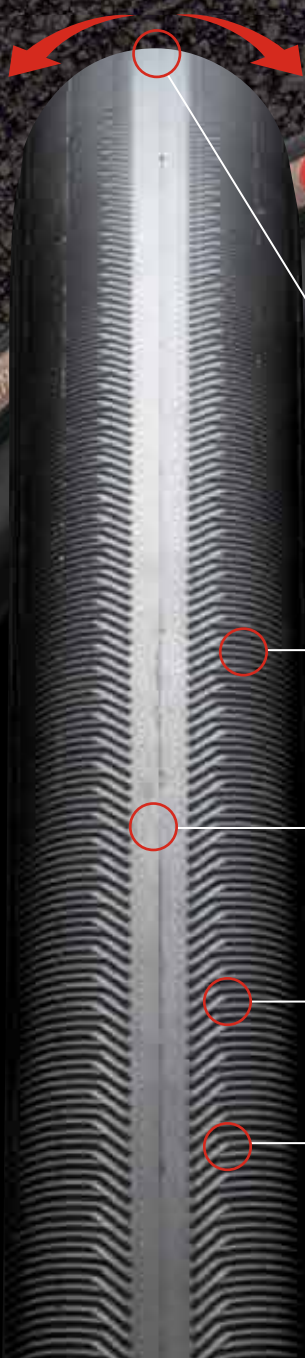
[jack@wiawis.com](mailto:jack@wiawis.com)



チューブレスに迫る、  
強さとグリップ力を備えた  
新生クリンチャータイヤ。

チューブレスのパイオニアがリリースした新生クリンチャータイヤ。  
アスピーテの基軸である  
「軽く、強く、トラブル無縁」を継承したモデル [RBCC]、  
「軽く、速く、レース性能」を追求したモデル [S-LIGHT]。  
その [S-LIGHT] に待望のタンサイドが登場！

**ASPITE PRO will be your answer.**



コーナーでタイヤを倒す  
ほどグリップ力が向上する  
新断面構造とヘリンボーン  
パターンを採用

タイヤ全面に40×40TPI  
メッシュガードを採用 (RBCCのみ)  
※サイドカットへの抵抗値40%アップ

新断面構造とスリック  
パターンで、なめらかな  
巡行走行を実現

クリンチャータイヤ初!  
フックレスリム対応

新エトルト規格に準拠

	標準リム幅	
タイヤ幅	25C	19mm
	28C	19mm
	30C	21mm



**NEW COLOR**

**SUPER GRIP! SUPER LIGHT!**

**ASPITE PRO S-LIGHT**

アスピーテプロスーパーライト

参考価格 ブラック ¥7,480(税込)

タンサイド ¥8,250(税込)

SIZE ● WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C

**SUPER GRIP! SUPER TOUGH!**

**ASPITE PRO RBCC**

アスピーテプロオールビーシーシー

参考価格 ¥7,480(税込)

SIZE ● WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C



## ご挨拶



日本学生自転車競技連盟  
会長 村岡 功

埼玉県利根川上流河川敷コースにおきまして、第62回全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会と、第9回全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会を、多くの皆様をお迎えして開催できますことは、誠に喜ばしいことであります。

今夏、東京オリンピックから早くも3年を経て、パリ・オリンピック・パラリンピックが開催されます。国際情勢に不安定な状況もありますが、オリンピック・パラリンピックが無事に開催され、本連盟在籍・出身者も含め選手・役員の皆様が安全に参加されることを願っております。

チーム・ロード・タイムトライアルレースは、一時期オリンピックや世界選手権の正式種目として行われなくなりましたが、2012年の世界選手権から正式種目として復活し、メジャー・ステージレースでもとりいれられるなど、この種目を見直す機運が高まっています。個人競技のイメージが強い自転車競技において、チーム・ロード・タイムトライアルはチームとしての団結力、チームワークが順位として結果に表れる団体種目であります。4人の選手が個々の特性や脚質を存分に発揮し、どのような展開で走り切るか、頭脳を駆使した戦いとゴールタイムが感動を呼ぶ種目と言えます。

個人ロードタイムトライアルは、大学ごとの出走人数等の制限はなく、一人ずつ時差スタートしていきます。スタート後は独走となる故、選手自らがペース配分を考え、効率良く自らの走力を出し切るかが問われます。体力面とともに一人で走り切る強い精神力も必要となります。まさに心技体が成績に反映されます。ほぼフラットなコースは一見走りやすくも見えますが、風の影響を受けやすいためにペース配分を考えることも作戦のひとつとなります。学生選手としてルールを順守し正々堂々と己の走りを追求して、自身の走りに磨きをかけることを期待します。

近年、このようなチーム・ロード、個人ロードタイムトライアルを開催できる場所・コースは限られてきています。首都圏からも近い利根川上流河川敷のコースは最も適したコースであり、学生選手の足試しとして、また将来世界に羽ばたく礎として力を発揮できる場所となっています。

このような大会の開催に当たり、多大なご支援・ご協力を賜りました、埼玉県加須市および羽生市の関係諸機関、さらには国土交通省利根川上流河川事務所をはじめとする利根川を管理する関係諸機関のご理解とご協力に対し、ここに改めて心から感謝を申し上げます。

最後に、協賛・後援・ご協力をいただきました公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人埼玉県自転車競技連盟、ならびに各ご協賛企業関係者各位、運営のためにご参集くださった当番校の日本大学、競技役員、参加各大学関係者、OB、OGの皆様に対し深甚なる感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

# 大会関係団体役員

主催 日本学生自転車競技連盟  
 会長 岡正作 功  
 副会長 岡本倉田 康雄  
 顧問 松倉信 信  
 理事長 古賀文之郎  
 専務理事 古賀文彦  
 総務部長 古賀文彦  
 企画委員長 古賀文彦  
 審判委員長 古賀文彦  
 強化普及委員長 古賀文彦  
 広報委員長 古賀文彦  
 医事・安全委員長 古賀文彦  
 常務理事 古賀文彦

共催 公益財団法人日本自転車競技連盟  
 運営協力 一般社団法人埼玉県自転車競技連盟

後援 国土交通省 利根川上流河川事務所  
 加須市 羽生市 羽生市教育委員会

協賛 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社  
 株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) 株式会社 JPF (順不同)

## 競技役員

無印は両日参加、(8日)(9日)は当日のみ参加 / 立哨員を除く

競技運営委員長 松倉信裕  
 総務委員長 増子智大  
 セフティマネージャー 近嵐智加良  
 学生委員 大和田龍之慎  
 総務委員 傳野龍太郎  
 チーフコミッサー 森川和之  
 審判団 武田光輝 岡和之 彰輝 雄治 容輝 洋圭 礼慧 飛郎 花成大介 颯生 郎聖子 圭也 子樹 斗新 一桃 樹颯 哉大 稔み

立哨・競技役員 (8日) 西中小熊山相藤石江佐末足八川西鈴齋長龜植自永片佐兒勝金鈴  
 (9日) 田島野岡下口田平田中村下 本田子野藤山葉川田中 江田

菅野英由子 小畑海碧 郡司夕磯  
 今村健斗 向川颯太  
 鈴木文也 大脇恒夫 中川敏彦  
 古川利勝 大村協 恒隆夫 中古川 賀田敏彦  
 大白石規環 荒井純一 倉三浦 倉三浦 西川 敏彦  
 石田正樹 高橋昌直 西川 敏彦  
 六本木知樹 池内泰久 西川 敏彦  
 齋藤知樹 金子泰久 西川 敏彦

都大颯樹聖一真之美飛騎樹歩 都太斗二光花郎虎芽蓮聖  
 陸颯和琉 勇之希勇大雄 健陸健颯健 涼一誠貴  
 井村子坂邊地壇葉蔵久保 江田井間田見笠見口玉野邊中  
 中市金長渡自千大大野前大村杉中岩屋鶴小相江兒大渡廣  
 唯遠真匠人鈴郎唯希玖聖凧依碧輝郎颯太和磨真子紘飛人  
 楓玲和隼 宗一 暖莉 真稟晃太 壯 涼大愛勇莉千勇颯健  
 田島野岡下口田平田中村下 本田子野藤山葉川田中 江田  
 生西高坂松畑江石松恩廣本山淵岡山金浅佐遠千石米野田 杉

天大斗匠新香珀樹宰蓮輝樹来 郎也郎颯汰鈴翔郎莉輝樹  
 颯蒼颯 健日琥 勇裕夢 巧智太 昂 遥次明勇裕  
 田川田本田藤野島邊野野元 木田月田本下中甘田橋野  
 高吉屋吉植西加片中渡天天中 鈴吉岩町松畑田美石高天  
 鈴岩岩大遠宮下庄青山田楠岩 市西坂鳥吉米後安恩藤山  
 木間月塚山崎瀨司木田中 元 村田野屋川良藤井田原口  
 巧健太春愛大結佳光 雅美 颯七 航敬 々二莉央大  
 郎太郎人磨志仁真琉潤輝皓佳 大菜匠平介葵子朗玖將貴

大会医師 大会看護師 大会当番校

(順不同)

# 第 62 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 大会要項

ver20240520

- 主催 日本学生自転車競技連盟  
共催 公益財団法人日本自転車競技連盟 一般社団法人埼玉県自転車競技連盟  
後援 国土交通省 利根川上流域事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会  
協賛 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社  
株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) 株式会社 JPF
- 期 日 2024 年 6 月 6 日 (木) チーム監督 / 代表者 Zoom 会議 20 時より  
2024 年 6 月 8 日 (土) 11 時 30 分 競技開始  
(立哨役員集合 8:30、ゼッケン配布 / 9:30 ~ 10:00、試走開始 10:00 予定 ~ 10:30 まで)  
尚、大会当日スタート直前のセーフティ・ライド研修会は実施されないの、研修は事前に受けておくこと。  
研修会開催の予定および詳細については、別途発表のコミュニケを参照すること。
- 会場 埼玉県利根川上流域南側 加須市・旧おとね童謡のふる里室前発着 羽生市・昭和橋近傍折返し
- 大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟（以下、「本連盟」という）加盟校の学校対抗形式によるチームロードレースの優勝校を決める大会とする。
- 競技種目 男子チーム・タイムトライアル・ロードレース：63.2 km
- 参加資格
1. 会場入場者全員
    - ・別途コミュニケ等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。
  2. 出場選手
    - ・受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会を事前に少なくともそれぞれ 1 回ずつ以上受講済であること。
    - ・当該年度に有効な、(公財)日本自転車競技連盟（以下、「JCF」という）登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録選手であること。
    - ・本連盟加盟校以外のチームのオープン参加を主催者判断により認める場合がある。
  3. チームスタッフ
    - ・JCF 又は UCI 加盟国発行ライセンスを所持していること。
    - ・ただしチーム監督・代表者は競技者ライセンスのみの保有者は務めることは許容されず、コーチ、チームアテンド、審判のいずれかのライセンスを所持している必要がある。
    - ・チーム監督 / 代表者は、別途コミュニケ等により発表する所定の座学講習会を事前に受講済であること。
  4. 緊急時搬送同行・送迎要員
    - ・大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。
    - ・緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督 / 代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。
    - ・エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。
  5. 供出役員（立哨役員・競技役員）
    - ・参加各チームは、以下の通り役員を供出することを参加条件とする。供出役員は JCF 又は UCI 加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可) 但し、2 名以上の場合、1 名以上は審判ライセンス保持者とする。審判ライセンス保持者がいない場合はもう 1 名追加すること。
    - ・参加各チームは、公認審判員 1 名および立哨役員 1 名の合計 2 名、もしくは立哨役員 3 名の供出を参加のための必要条件とする。さらに、埼玉・東京・神奈川・山梨・千葉・茨城・群馬・栃木県が登録地であるチームは、上記の供出人数に加えてもう 1 名の役員を供出すること。
    - ・立哨役員はコース上の指定された箇所に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得していて、コースの安全管理が可能な当年 3 月 31 日時点で満 18 歳以上の者とする。
    - ・今回の供出役員は立哨だけでなく競技役員として配置される場合がある。
    - ・供出役員には、昼食を支給する(但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。
    - ・本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。
  6. 供出役員の変更
    - ・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催 3 日前の 22 時までには当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。
    - ・当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には代替りの者を出すこと。代替りの者を出せない場合には、実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1 名の不足につき 10000 円のペナルティを科す。
    - ・感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。
- 参加基準 各校 1 チームとし、チームは 3 名または 4 名の選手で構成し、また 2 名の補欠選手エントリーを認める。
- 参加申込
1. エントリー申込
    - ・所定の様式(エクセル)でエントリー専用電子メールアドレス宛てに本連盟事務局まで申し込むこと。  
2023jicf.championship@gmail.com エクセル様式申込書式は JICF ウェブサイトより入手できる。  
エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容を Google フォームにて期限内に送付する事。<https://forms.gle/w26SuqDUdppJpsAj9>
    - ・本連盟ウェブサイトにエントリー受信者リストを公表するので、各自確認のこと。
    - ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。



申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

## 2. 参加料

- ・参加料は1チームにつき30,000円とする。

## 3. 申込期限および参加料納入期限

5月8日(水)17時必着とする。

## 4. 参加料振込先

長野県労働金庫(ろうきん)諏訪湖支店 普通9687348 口座名義 日本学生自転車競技連盟

送金名義人について、振込元に大会コード0608と、XXダイガク等、必ずチーム名を記入すること。銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。

## 5. 返金

- ・一旦入金された参加料は原則として返金しない。但し、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金するので、返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
- ・当日の体調不良により参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

## 6. 欠場

- ・本大会における欠場については理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを科さないこととする。ただし、受付開始時刻以前に事務局まで電子メール(jicf@remus.dti.ne.jp)および電話(学連携帯090-2207-2369)で欠場の連絡をすること。

## 7. 誓約

- ・申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

## 会場入場

### 1. チームスタッフの登録

- ・選手1名につきスタッフ2名を上限(飲食料の補給スタッフを含む)として会場への入場を許可する。
- ・監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、参加資格5.の供出役員についてはチームスタッフの合計人数に含まない。
- ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場、チームPITおよび車輪・器材交換の指定PITへの入場も許可しない。

### 2. 登録スタッフの変更

- ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。

### 3. メディア関係者

- ・大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

## 選手受付

### 1. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールは事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。別途コミニク発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

### 2. 出走メンバーリスト提出

- ・出走サインは行わないので、出走1時間前までに出走メンバーのリストをセクレタリまで提出すること。

### 3. バイクチェック

- ・参加者は、自転車・ヘルメットを持参して出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。
- ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

- 4. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

## 賞典・式典

1. 開会式・閉会式については別途発表するコミュニクにて詳細をご確認ください。表彰式については第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第、フィニッシュライン付近にて行う。
2. 優勝チームに優勝杯、チャンピオンジャージ、賞状を授与する。第2位および第3位に、賞品と賞状を授与する。第4位から第8位に、賞状を授与する。

## 事故措置

1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。
3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。

## 肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じる。

## 競技規則

JCF 競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

## 司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続きを含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

## ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

## 事務局

日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408  
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

# 特 別 規 則

## 第1条 (チーム監督 / 代表者会議)

1. 2024年6月6日(木)20時00分より、事前にリモートでチーム監督 / 代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
2. 会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
3. 正当な理由無く無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

## 第2条 (スタート・走行)

各チームのスタート間隔は、前年の上位8校は2分、その他は1分とする。前年度上位校から順に発走する。競技中は、原則として左側通行とする。

## 第3条 (計時)

各チームの3番目選手がフィニッシュラインを通過したときにタイムを計時する。

## 第4条 (食料補給)

飲食物の補給は、フィニッシュ側折返し地点の認められた場所において每周回認める。

## 第5条 (PIT 及び車輪・器材交換)

コミュニケーションで指定する箇所のPITでのみ車輪・器材交換を認める。各チームはPITに1~2名の人員が待機することができるが、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。また、前年度上位8校にはMOTO審判がつくが、担当する上位8校の各チームから車輪を1ペア、交換用器材としてMOTO車両に積載することができる。

## 第6条 (器材)

1. 当連盟HPに掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。(例えば、「公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする」など詳細は本規定を確認すること)
2. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
3. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。

## 第7条 (無線通信)

レース中の競技者相互・競技者と監督間の無線通信を、競技運営ならびに安全性を妨げない範囲において認める。(UCI規則2.2.024条、JCF規則第28条1参照のこと)

## 第8条 (その他)

指定された場所以外での食料の残り・包装等、あらゆる固形物の投げ捨てはコースの内・外、レース中・外を問わず固形物1点につき3,000円のペナルティを科す。

# 誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004, JCF規則第5条2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9)準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。



# 第9回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 大会要項

ver20240530b

主催 日本学生自転車競技連盟  
 共催 公益財団法人日本自転車競技連盟 一般社団法人埼玉県自転車競技連盟  
 後援 国土交通省 利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会  
 協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO.,LTD.(WIAWIS) 株式会社 JPF  
 協力 ロード・トゥ・ラヴニール・プロジェクト  
 期日 2024年6月6日(木) チーム監督/代表者 Zoom 会議 20時より  
 2024年6月9日(日) 9時30分 競技開始  
 (立哨役員集合7:45, ゼッケン配布/8:15~8:45, 試走開始8:30 予定~9:00 まで)

会場 埼玉県利根川上流域 加須市旧おおとね童謡のふる里室前発着  
 大会主旨 本大会は、本年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した選手による個人ロードタイムトライアルの優勝者を決めるとともに、学生自転車競技水準向上と、開催地域におけるサイクルスポーツの振興に寄与することを目的とする。

競技種目 個人ロードタイムトライアル 男子:31.2km 女子:25.2km

- 参加資格
- 会場入場者全員
    - 別途コミュニケーション等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。
  - 出場選手(全カテゴリ共通)
    - 受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会を事前に少なくともそれぞれ1回ずつ以上受講済であること。
    - 当該年度に有効な、(公財)日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)またはUCI加盟団体発行の競技者ライセンス保持者であること。
    - 本連盟加盟校の登録選手が所属するロードのクラスについては、下記の参加申込3.の申込期限日時における当連盟事務局で認識しているロードのクラスでエントリーできるものとする。自分のロードクラスが不明である場合は、エントリー用紙提出前に当連盟事務局に問い合わせをすること。
    - なお、下記の参加申込3.の申込期限日時より大会当日までの間に、当連盟の主催大会においてロードのクラスが昇格等により変更となった場合、大会当日にエントリーしていたカテゴリークラスの変更を認める。但し、カテゴリークラスを変更した場合、申込期限日時の所属クラスで作成した競技プログラム上の発送順及びゼッケン番号は、そのまま変更しないものとする。
  - 男子
    - 本連盟加盟校の登録選手で本年度大会参加基準を満たしている者(ロードカテゴリークラス1+2)
    - オープン参加:エリート、U23、ジュニア、パラサイクリング・ライセンス保持者で、本連盟が認めた若干名の者とする
  - 女子
    - 本連盟加盟校の登録選手
    - オープン参加:エリート、U23、ジュニア、パラサイクリング・ライセンス保持者で、本連盟が認めた者
  - 普及レース
    - 下記競技者を対象に、普及レースを実施する。
    - 学連登録選手:ロードカテゴリークラス3の者のみとする。
  - チームスタッフ
    - JCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。
    - ただしチーム監督・代表者は競技者ライセンスのみの保有者は務めることは許容されず、コーチ、チームアテンダント、審判のいずれかのライセンスを所持している必要がある。
    - チーム監督/代表者は、別途コミュニケーション等により発表する所定の座学講習会を事前に受講済であること。
  - 緊急時搬送同行・送迎要員
    - 大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。
    - 緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督/代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。
    - エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。
  - 供出役員(立哨役員・競技役員)
    - 前項2.のすべての選手のエントリーについて立哨役員・競技役員を供出することを参加のための必要条件とする。供出役員はJCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可)
    - 供出の条件については下記を参照し、チーム毎の参加選手数(①、②、③のすべての参加者の合計)に応じて立哨役員・競技役員を供出すること。

参加選手数	立哨・競技役員供出数(最低数)	(Aゾーンのチーム)	(Bゾーンのチーム)	(Cゾーンのチーム)
1~2	0	0	0	0
3~4	1	0	0	0
5~6	2	1	1	0
7~9	3	2	2	1
10以上	選手2.5名につき1名 (少数点以下切り捨て)	選手4名につき1名 (少数点以下切り捨て)	選手6名につき1名 (少数点以下切り捨て)	

    - Aゾーン:埼玉・東京・神奈川・山梨・千葉・群馬・栃木・茨城が登録地であるチーム
    - Bゾーン:Aゾーン以外の本州内のチーム
    - Cゾーン:本州以外のチーム
    - 但し、2名以上の場合、1名以上は審判ライセンス保持者とする。審判ライセンス保持者がいない場合はもう1名を追加すること。
    - 本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。
    - 選手権レースと普及レースに出場する選手が交代して供出役員になることは認めない。

- ・今回の供出役員は立哨だけでなく競技役員として配置される場合がある。
  - ・立哨役員はコース上の指定された箇所に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得してコースの安全管理が可能な当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。
  - ・供出役員には、昼食を支給する(但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。上記条件は学連・その他のチームを問わず参加全チームに適用される。
6. 供出役員(立哨役員・競技役員)の変更
- ・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までには当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。
  - ・当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代わりの者を出すこと。代わりの者を出せない場合には、実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科す。
  - ・感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。

#### 参加申込 1. エントリー申込

- ・所定の様式(エクセル)でエントリー専用電子メールアドレス宛てに本連盟事務局まで申し込むこと。2023jicf.championship@gmail.com エクセル様式申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容をGoogleフォームにて期限内に送付する事。<https://forms.gle/Bfbot3EzNzPDL82d2A>
- ・本連盟ウェブサイトにエントリー受信者リストを公表するので、各自確認のこと。
- ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

#### 2. 参加料

- ・参加料は、学連登記者は1名につき8,000円、それ以外の参加者は1名につき10,000円とする。

#### 3. 申込期限および参加料納入期限

5月8日(水)17時必着とする。

#### 4. 参加料振込先

長野県労働金庫(ろうきん)諏訪湖支店 普通9687355 口座名義 日本学生自転車競技連盟  
送金名義人について、振込元に大会コード0609と、XXダイガク等、必ずチーム名を記入すること。  
銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。

#### 5. 返金

- ・一旦入金された参加料は原則として返金しない。但し、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金するので、返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
- ・当日の体調不良により参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

#### 6. 欠場

- ・本大会における欠場については理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを科さないこととする。ただし、受付開始時刻以前に事務局まで電子メール(jicf@remus.dti.ne.jp)および電話(学連携帯090-2207-2369)で欠場の連絡をすること。

#### 7. 誓約

- ・申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

#### 会場入場 1. チームスタッフの登録

- ・選手数+1名を上限(選手1名ならば、2名まで)としてチームスタッフの登録を行うことができる。
- ・監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、参加資格5.の供出役員(立哨役員・競技役員)についてはチームスタッフの合計人数に含まない。
- ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場および車輪・器材交換の指定PITへの入場も許可しない。

#### 2. 登録スタッフの変更

- ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までには当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。

#### 3. メディア関係者

- ・大会開催3日前の22時までには取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

#### 選手受付 1. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールは事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。別途コミニク発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

#### 2. バイクチェック

- ・参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。
- ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

- 3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

#### 賞典・式典

1. 開会式・閉会式については別途発表するコミニクにて詳細をご確認ください。表彰式については第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第、フィニッシュライン付近にて行う。
2. 男子と女子の第1位にチャンピオンジャージと賞品、賞状を授与する。同じく男女の第2位および第3位に、賞品と賞状を授与する。また、男子の第4位から第8位に賞状を授与する。尚、オープン参加者が上位3位以内となった場合、学生選手権大会の上位者表彰を併せて行う。普及レースは第1位から第3位に、賞状を授与する。
3. 普及レースのクラス3の出走者(オープン選手の数を含めない)の上位5%以内(小数点以下切上げ・完走しなかった者を除く)の選手(学連登記選手であること)はクラス2に昇格し、クラス2の1位の選手(学連登記

- 選手であること)はクラス1に昇格する。
- 事故措置 1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。  
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。  
3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。  
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。  
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。
- 肖像権 本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。
- 競技規則 JCF 競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。
- 司法管轄 本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続きを含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。
- ドーピング検査  
1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。  
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>  
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。  
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。  
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。
- 事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: [jicf@remus.dti.ne.jp](mailto:jicf@remus.dti.ne.jp) URL: <https://jicf.info/>  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408  
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

## 特別規則

- 第1条 (チーム監督/代表者会議)  
1. 2024年6月6日(木)20時より、事前にリモートでチーム監督/代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。  
2. 会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。  
3. 正当な理由無く無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。
- 第2条 (スタート・走行)  
各選手のスタート間隔は、原則として30秒間とする。競技中は、原則として左側通行とする。
- 第3条 (追走車両)  
各選手に対する追走車両は走行しない。
- 第4条 (器材交換)  
各校にて用意した代車(バイクチェックを事前に受けること)・代輪は、指定されたピットにおいてのみ交換を認める。
- 第5条 (食料補給)  
飲食料の補給は認めない。
- 第6条 (器材)  
1. 当連盟HPに掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。(例えば、「公道上进行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする」など詳細は本規定を確認すること)  
2. クラス3の選手については、ディスクホイールやタイムトライアル専用バイクの使用、エクステンションバーの取付けを禁止する。  
3. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。  
4. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となる可能性がある。
- 第7条 (その他)  
1. レース中の競技者との無線通信その他の遠隔通信は禁止とする。  
2. ウォームアップは指定の場所で行い、周辺のサイクリングロードを使用しないこと。また移動でサイクリングロードを使用する際は、他の利用者に十分注意して低速で走行すること。

## 誓約書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- UCI(国際自転車競技連合)・JCF(日本自転車競技連盟)規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004, JCF規則第5条2.(4))
- 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9)準用)
- 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。



## タイム・スケジュール

開始時刻	参加選手	立哨・競技役員	備考
<b>6月8日（土） 第62回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会</b>			
5:00～8:30		コース設営作業	
7:30～	第1駐車場入場開始		
8:30		競技役員／立哨員 受付	大会本部前
9:00～9:20		競技役員／立哨員 打合せ	大会本部前
9:30～10:00	選手受付/出走者確認・ゼッケン配布	立哨員 配置移動	大会本部前
10:00～10:30	試走（横断車両あり注意）	MOTO審判（10:00～コースクリア）	スタート地点
10:00～	バイク検車開始		大会本部前
11:05～11:20	開会式		大会本部前
11:30	競技開始		スタート地点
14:30～（予定）	表彰式・閉会式	コース設営撤収作業	大会本部前
<b>6月9日（日） 第9回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会</b>			
5:30～7:45		コース設営作業	
7:00～	第1駐車場入場開始		
7:45		競技役員／立哨員 受付	大会本部前
8:00～8:15		競技役員／立哨員 打合せ	大会本部前
8:15～8:45	選手受付/欠場者確認・ゼッケン配布	立哨員 配置移動	大会本部前
8:30～9:00	試走（横断車両あり注意）	MOTO審判（8:30～コースクリア）	スタート地点
8:30～	バイク検車開始		大会本部前
9:30～	女子競技開始		スタート地点
10:00～	男子競技開始		スタート地点
14:00～（予定）	表彰式・閉会式	コース設営撤収作業	大会本部前

## 式 次 第

### 第 62 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

#### 開 会 式

6月8日（土）11時05分より（放送アナウンスで）

- 1 開会宣言                    学生委員長 大和田龍之慎
- 2 開会挨拶  
    日本学生自転車競技連盟会長 村岡 功
- 3 歓迎挨拶  
                                埼玉県加須市長 角田 守良
- 4 優勝杯返還 第60回大会優勝校 東京大学
- 5 選手宣誓                    日本大学 岡本 勝哉

#### 表彰式・閉会式

6月8日（土）14時30分より（予定）

- 1 成績発表・表彰
- 2 閉会挨拶  
    日本学生自転車競技連盟副会長 井関 康正
- 3 閉会宣言                    学生委員長 大和田龍之慎

### 第 9 回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会

#### 表彰式・閉会式

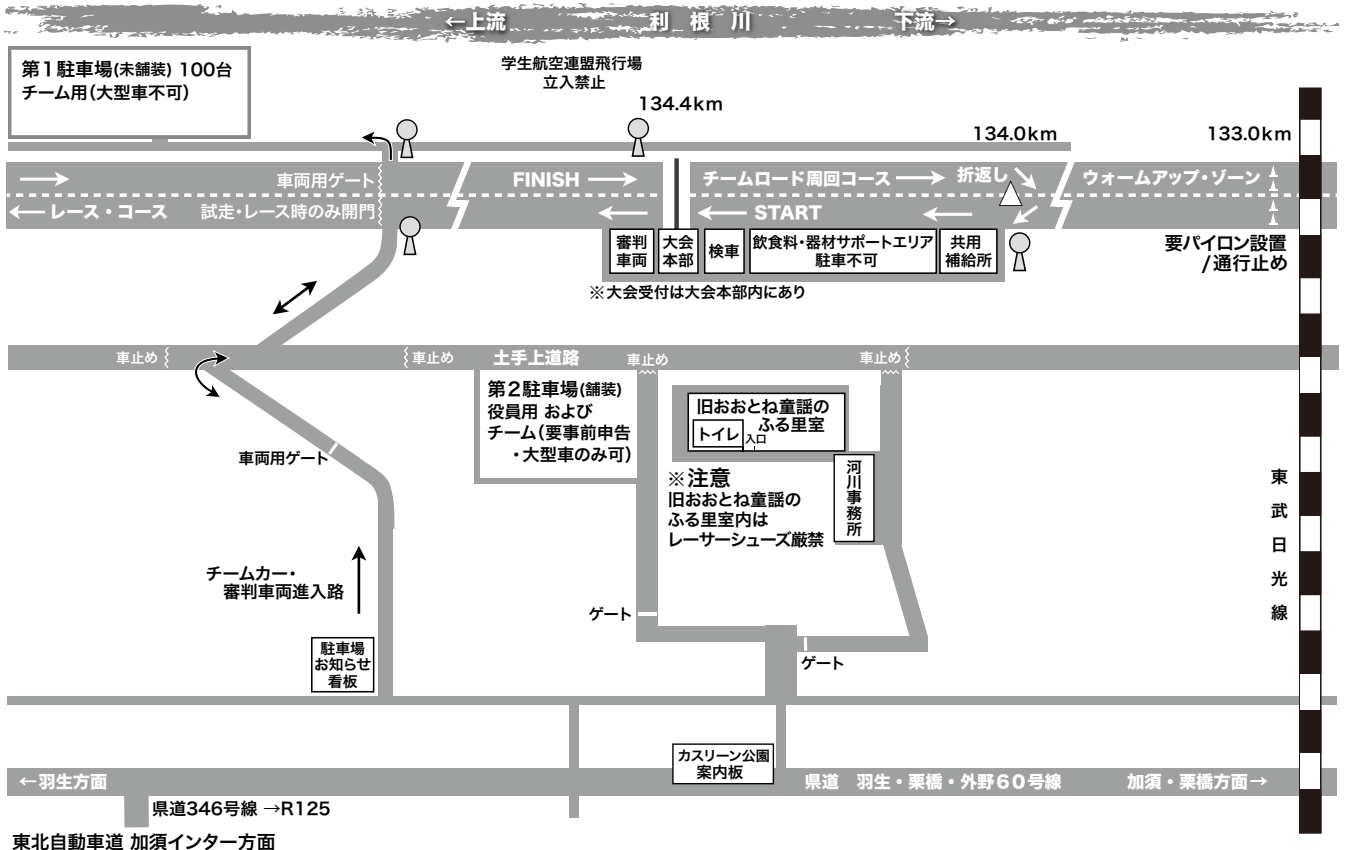
6月9日（日）14時00分より（予定）

- 1 成績発表・表彰
- 2 閉会挨拶  
    日本学生自転車競技連盟副会長 井関 康正
- 3 閉会宣言                    学生委員長 大和田龍之慎

# 第 62 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 コースマップ



## 大会本部・駐車場・スタート/フィニッシュ地点 詳細図 6/8 (土) チーム・ロード・タイムトライアル大会



第 62 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 スタートリスト

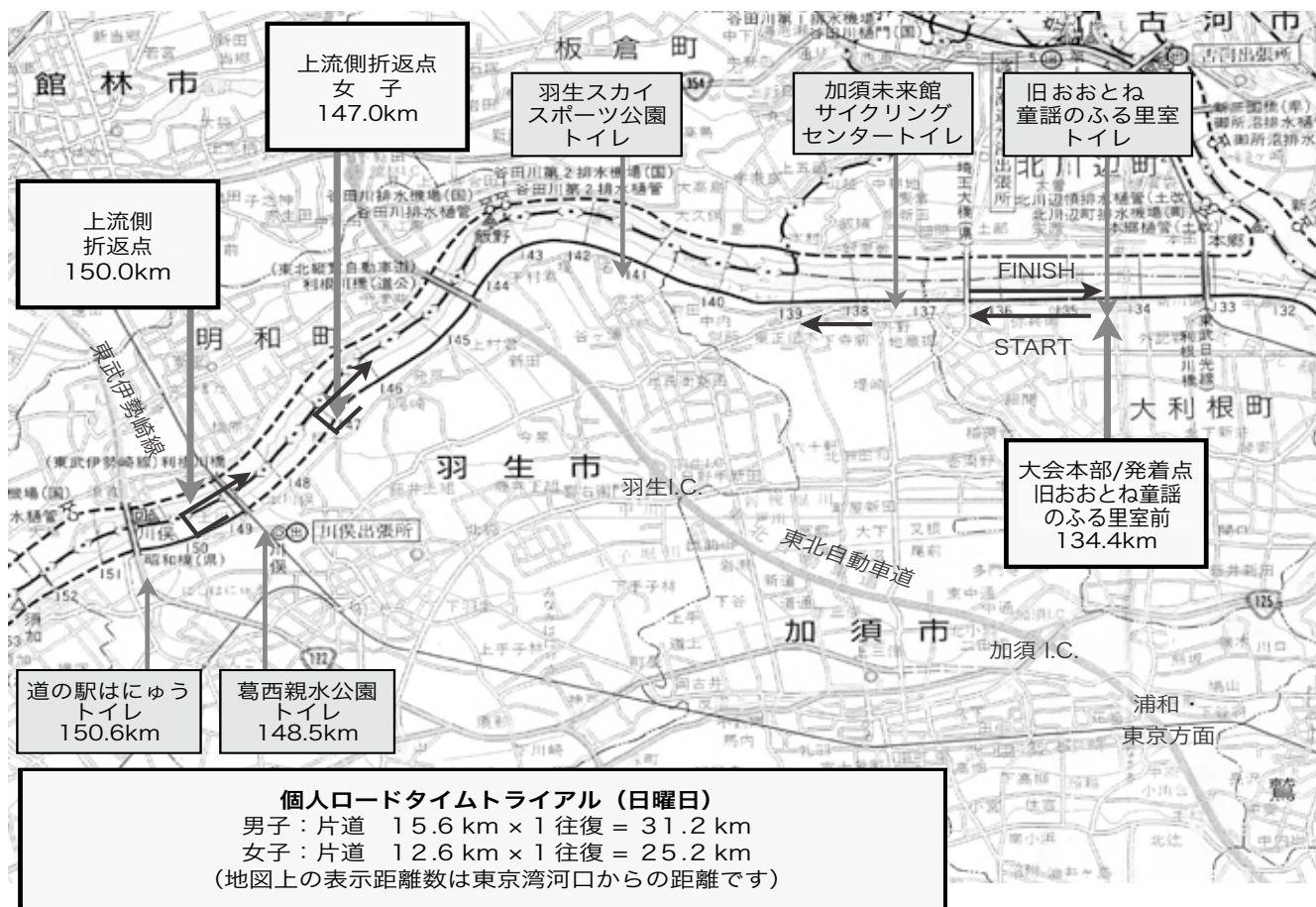
No	チーム名	ゼッケン	氏名	学年	ゼッケン	氏名	学年	スタート時刻
1	東京大学	1	鎌田 将	M2	4	中根 大宝	2	11:30:00
		2	樋端 怜矢	M2	5	長尾 春輝	2	
		3	篠崎 蒼平	M1	6	下平 一貴	2	
2	朝日大学	11	國吉 優希	4	14	加藤 弘喜	3	11:32:00
		12	細川 拓真	3	15	濱田 大輝	3	
		13	世古 眞太郎	3	16	森本 直樹	3	
3	日本大学	21	岡本 勝哉	4	24	鎌田 晃輝	2	11:34:00
		22	新井 敬太	3	25	小林 岳央	1	
		23	森本 凜太郎	3	26	奥村 圭志	1	
4	京都産業大学	31	矢萩 悠也	4	34	山口 順也	3	11:36:00
		32	山田 潤	3	35	森田 叶夢	2	
		33	末吉 陽生	3	36	渡辺 一気	1	
5	早稲田大学	41	山田 拓海	4	44	山里 一心	2	11:38:00
		42	大仲 凜功	3	45	児玉 誠虎	1	
		43	神村 泰輝	3				
6	中央大学	51	伊藤 恭	4	54	大室 佑	2	11:40:00
		52	山下 虎ノ亮	3	55	島崎 将男	1	
		53	三宅 太生	2	56	佐藤 后嶺	1	
7	日本体育大学	61	玉城 翔太	4	64	泉 颯太	3	11:42:00
		62	福田 晃司	4	65	小林 海斗	2	
		63	池田 悠生	3	66	落合 康生	2	
8	鹿屋体育大学	71	津留 峻	4	74	並江 優作	2	11:44:00
		72	福迫 倅輔	3	75	廣田 汰也	1	
		73	梅澤 幹太	2	76	河村 元	1	
これより一分間隔の発走								
9	関西大学	81	藤田 黎明	4	84	西村 聡太	2	11:45:00
		82	平井 杏周	4	85	西口 恵唯	1	
		83	山岸 正汰	3				
10	法政大学	91	宇田川 壘	4	94	増山 輝咲	4	11:46:00
		92	逸崎 瑞喜	4	95	風間 大和	1	
		93	大山 航平	4	96	木下 寿杜頼	1	
11	順天堂大学	101	渡邊 和貴	4	104	中島 壮琉	3	11:47:00
		102	塩出 皓成	4				
		103	菅原 聡	3				
12	明星大学	111	仙洞田 雄大	4	114	田中 遥翔	2	11:48:00
		112	反保 亮太	4	115	山岡 秀平	2	
		113	小森 継心	3	116	遠藤 大樹	1	
13	明治大学	121	林原 聖真	3	124	中川 挺太	2	11:49:00
		122	永野 昇海	3	125	辻 洸之介	1	
		123	鈴木 滯	2				
14	立命館大学	131	榎木 啓樹	4	134	榊原 健太	2	11:50:00
		132	高本 亮太	4	135	塚本 善広	1	
		133	松井 丈治	3	136	中江 真也	1	
15	同志社大学	141	瀬戸口 瑛	2	144	小野寺 要	1	11:51:00
		142	古市 孝太郎	2				
		143	天野 裕太	2				
16	慶應義塾大学	151	秋田 圭佑	3	154	六川 毅	2	11:52:00
		152	阿部 浩大	3	155	南山 航介	2	
		153	平井 健三	3	156	中谷 研斗	1	
17	新潟食料農業大学	161	二森 息吹	3	164	梅津 飛羽	2	11:53:00
		162	内田 峻輔	2				
		163	加藤 快介	2				



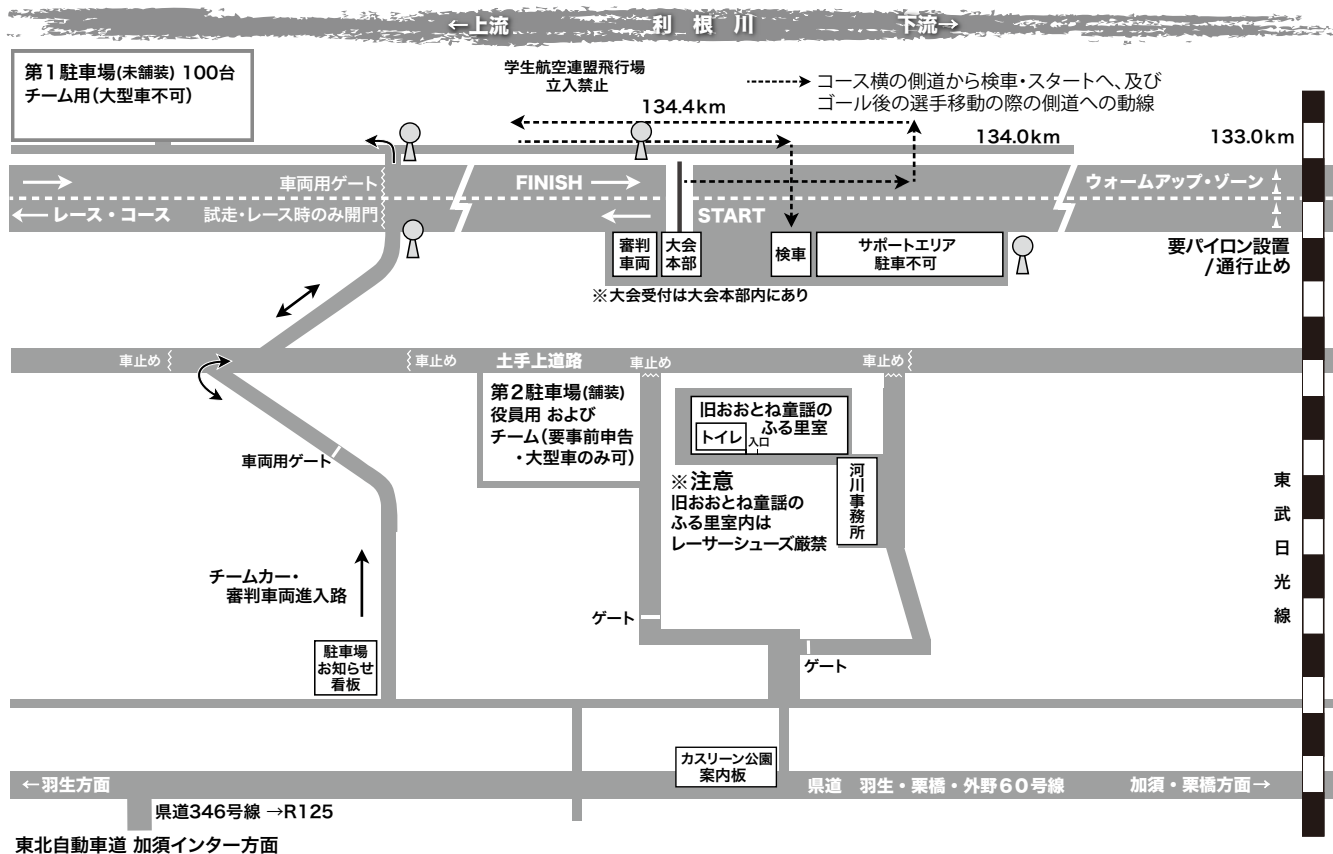
第 62 回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 スタートリスト

No	チーム名	ゼッケン	氏名	学年	ゼッケン	氏名	学年	スタート時刻
18	作新学院大学	171	左田 龍脩	3	174	及川 弘恭	2	11:54:00
		172	榎山 結己	3				
		173	阿蘇 来夢	2				
19	新潟大学	181	鈴木 雄大	4	184	佐藤 輝汰	2	11:55:00
		182	添田 昂弥	3				
		183	関 麟太郎	3				
20	明治国際医療大学	191	清水 稜太郎	3	194	山下 歩	2	11:56:00
		192	小幡 優陽	3	195	辻 陸翔	1	
		193	樋口 源	2	196	彦坂 拓真	1	

# 第9回 全日本学生選手権 個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 コースマップ



## 大会本部・駐車場・スタート/フィニッシュ地点 詳細図 6/9 (日) 個人ロードタイムトライアル自転車競技大会



## 第9回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 スタートリスト

選手権大会 / 女子スタートリスト					
ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
201	明治大学	渡部 春雅	4	9時30分00秒	
202	早稲田大学	石田 唯	4	9時31分00秒	
203	鹿屋体育大学	川本 莉子	3	9時32分00秒	
204	立教大学	針替 百花	1	9時33分00秒	
205	鹿屋体育大学	岩元 美佳	3	9時34分00秒	
206	同志社大学	石田 明梨	2	9時35分00秒	
207	鹿屋体育大学	淵 稟碧	1	9時36分00秒	
インターバル (折返し地点変更のため女子が全員折返しを終了するまで待つ)					

オープンエントリー / スタートリスト					
ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
301	藤建設株式会社	藤田 征樹		10時00分00秒	
302	EQADS	中山 竜一		10時01分00秒	
303	埼玉ユース自転車競技部	新藤 大翔	高2	10時02分00秒	
インターバル					

選手権大会 / 男子スタートリスト クラス1+2					
ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
1	早稲田大学	神村 泰輝	3	10時10分00秒	
2	東京大学	篠崎 蒼平	M1	10時11分00秒	
3	日本大学	北嶋 桂大	4	10時12分00秒	
4	鹿屋体育大学	津留 峻	4	10時13分00秒	
5	明治大学	林原 聖真	3	10時14分00秒	
6	日本大学	新井 敬太	3	10時15分00秒	
7	立命館大学	松井 丈治	3	10時16分00秒	
8	朝日大学	世古 眞太郎	3	10時17分00秒	
9	日本大学	岡本 勝哉	4	10時18分00秒	
10	作新学院大学	阿蘇 来夢	2	10時19分00秒	
11	順天堂大学	渡邊 和貴	4	10時20分00秒	
12	日本大学	森本 凜太郎	3	10時21分00秒	
13	慶應義塾大学	秋田 圭佑	3	10時22分00秒	
14	朝日大学	アザリ 良利	2	10時23分00秒	
15	日本大学	鎌田 晃輝	2	10時24分00秒	
16	法政大学	宇田川 塁	4	10時25分00秒	
17	日本体育大学	玉城 翔太	4	10時26分00秒	
18	日本大学	柚木 伸元	2	10時27分00秒	
19	京都産業大学	森田 叶夢	2	10時28分00秒	
20	同志社大学	瀬戸口 瑛	2	10時29分00秒	
21	日本大学	新宮 颯太	2	10時30分00秒	
インターバル					
22	早稲田大学	大仲 凜功	3	10時40分00秒	
23	中央大学	釜田 佳典	3	10時40分30秒	
24	京都産業大学	矢萩 悠也	4	10時41分00秒	
25	関西大学	山岸 正汰	3	10時41分30秒	
26	法政大学	風間 晴喜	4	10時42分00秒	
27	日本大学	菅野 蒼羅	3	10時42分30秒	
28	日本体育大学	池田 悠生	3	10時43分00秒	
29	明星大学	仙洞田 雄大	4	10時43分30秒	
30	鹿屋体育大学	福迫 倅輔	3	10時44分00秒	
31	順天堂大学	塩出 皓成	4	10時44分30秒	
32	朝日大学	濱田 大輝	3	10時45分00秒	
33	早稲田大学	山里 一心	2	10時45分30秒	
34	中央大学	伊藤 恭	4	10時46分00秒	
35	京都産業大学	山田 潤	3	10時46分30秒	
36	関西大学	藤田 黎明	4	10時47分00秒	
37	法政大学	逸崎 瑞喜	4	10時47分30秒	
38	日本大学	古山 覚理	4	10時48分00秒	
39	日本体育大学	落合 康生	2	10時48分30秒	
40	明星大学	本条 悠太郎	2	10時49分00秒	



第9回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 スタートリスト

ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻
41	鹿屋体育大学	梅澤 幹太	2	10時49分30秒
42	順天堂大学	菅原 聡	3	10時50分00秒
インターバル				
43	朝日大学	加藤 弘喜	3	11時00分00秒
44	早稲田大学	鈴木 紳之助	2	11時00分30秒
45	中央大学	大室 佑	2	11時01分00秒
46	京都産業大学	末吉 陽生	3	11時01分30秒
47	慶應義塾大学	中谷 研斗	1	11時02分00秒
48	法政大学	風間 大和	1	11時02分30秒
49	作新学院大学	左田 龍脩	3	11時03分00秒
50	日本体育大学	福田 晃司	4	11時03分30秒
51	明星大学	小森 継心	3	11時04分00秒
52	鹿屋体育大学	並江 優作	2	11時04分30秒
53	順天堂大学	中島 壮琉	3	11時05分00秒
54	朝日大学	布廣 優樹	3	11時05分30秒
55	中央大学	三宅 太生	2	11時06分00秒
56	京都産業大学	渡辺 一気	1	11時06分30秒
57	明治大学	永野 昇海	3	11時07分00秒
58	法政大学	木下 寿杜頼	1	11時07分30秒
59	作新学院大学	樫山 結己	3	11時08分00秒
60	日本体育大学	泉 颯太	3	11時08分30秒
61	鹿屋体育大学	杉野 翔一	2	11時09分00秒
62	順天堂大学	大森 虹亮	2	11時09分30秒
63	朝日大学	鶴久 力	2	11時10分00秒
インターバル				
64	中央大学	島崎 将男	1	11時20分00秒
65	新潟食料農業大学	梅津 飛羽	2	11時20分30秒
66	明治大学	鈴木 滯	2	11時21分00秒
67	同志社大学	天野 裕太	2	11時21分30秒
68	作新学院大学	生田 楓唯	3	11時22分00秒
69	日本体育大学	小林 海斗	2	11時22分30秒
70	鹿屋体育大学	廣田 汰也	1	11時23分00秒
71	信州大学	辻本 青矢	4	11時23分30秒
72	朝日大学	雪本 誠	1	11時24分00秒
73	中央大学	佐藤 后嶺	1	11時24分30秒
74	新潟食料農業大学	加藤 快介	2	11時25分00秒
75	明治大学	中川 挺太	2	11時25分30秒
76	立命館大学	榊原 健太	2	11時26分00秒
77	作新学院大学	及川 弘恭	2	11時26分30秒
78	東海大学	齋藤 祥樹	4	11時27分00秒
79	鹿屋体育大学	河村 元	1	11時27分30秒

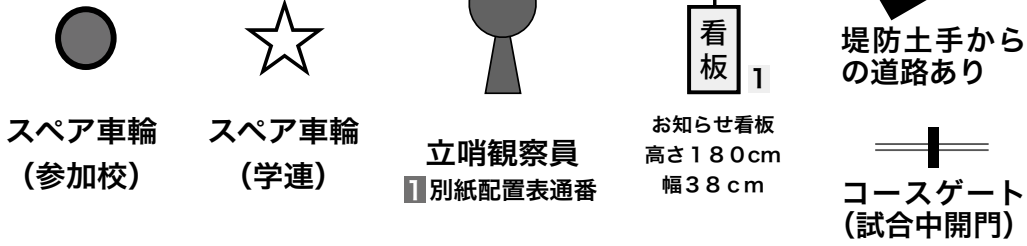
普及レース大会 / スタートリスト クラス3					
ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
101	法政大学	増山 輝咲	4	11時45分00秒	
102	朝日大学	國吉 優希	4	11時45分30秒	
103	日本大学	本田 稜介	2	11時46分00秒	
104	慶應義塾大学	阿部 浩大	3	11時46分30秒	
105	東北学院大学	小澤 侑陽	3	11時47分00秒	
106	朝日大学	白井 輝	4	11時47分30秒	
107	立教大学	矢野 行哉	3	11時48分00秒	
108	駒澤大学	大槻 駿介アラン	3	11時48分30秒	
109	日本大学	広瀬 徳近	1	11時49分00秒	
110	朝日大学	山口 涼輔	4	11時49分30秒	
111	東京大学	鎌田 将	M2	11時50分00秒	
112	法政大学	大山 航平	4	11時50分30秒	
113	慶應義塾大学	平井 健三	3	11時51分00秒	
114	朝日大学	新谷 和征	4	11時51分30秒	
115	日本大学	秦 愛希翔	1	11時52分00秒	
116	東北学院大学	茂呂 佳名人	3	11時52分30秒	
117	立教大学	町田 和稀	2	11時53分00秒	
118	朝日大学	森本 直樹	3	11時53分30秒	
119	駒澤大学	鈴木 龍悟	1	11時54分00秒	
120	明星大学	加藤 琥珀	2	11時54分30秒	
121	日本大学	伊 書男	1	11時55分00秒	
122	朝日大学	熱田 歩	3	11時55分30秒	
123	慶應義塾大学	六川 毅	2	11時56分00秒	
124	東京大学	樋端 怜矢	M2	11時56分30秒	
125	法政大学	上戸 伸之輔	1	11時57分00秒	
126	朝日大学	古賀 裕基	3	11時57分30秒	
127	日本大学	平 寅次郎	1	11時58分00秒	
128	東北学院大学	逢見 樹輝	1	11時58分30秒	
129	立教大学	大竹 広高	1	11時59分00秒	
130	朝日大学	齊藤 脩	3	11時59分30秒	
131	早稲田大学	山田 拓海	4	12時00分00秒	
インターバル					
132	慶應義塾大学	高橋 陽輝	2	12時10分00秒	
133	日本大学	石田 航太	1	12時10分30秒	
134	朝日大学	細川 拓真	3	12時11分00秒	
135	明星大学	山岡 秀平	2	12時11分30秒	
136	東京大学	中根 大宝	2	12時12分00秒	
137	日本体育大学	新垣 快琉	2	12時12分30秒	
138	朝日大学	疋田 雅人	3	12時13分00秒	
139	日本大学	奥村 圭志	1	12時13分30秒	
140	立命館大学	塚本 善広	1	12時14分00秒	

## 第9回 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 スタートリスト

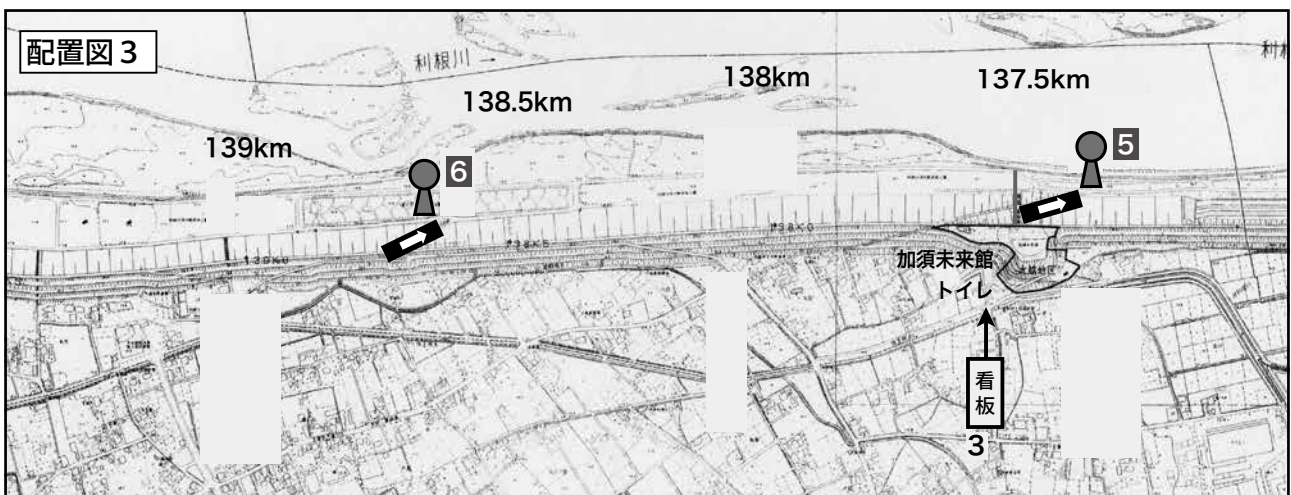
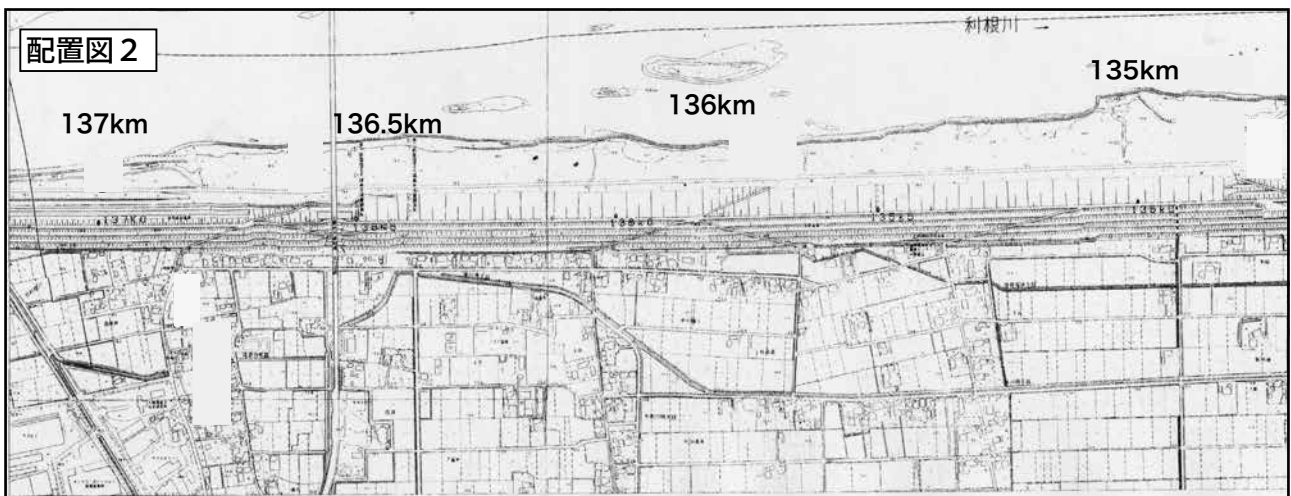
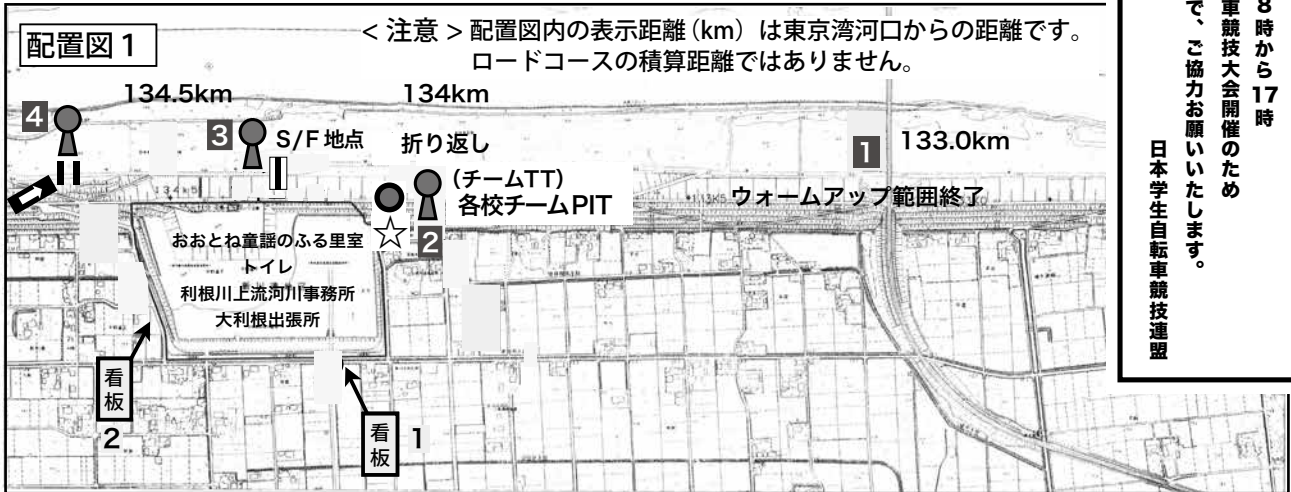
ゼッケン	チーム名	氏名	学年	スタート時刻	
141	慶應義塾大学	長谷川 嘉洋	2	12時14分30秒	
142	朝日大学	清水 勇志	2	12時15分00秒	
143	立教大学	西川 優太	1	12時15分30秒	
144	早稲田大学	大野 宗哲	1	12時16分00秒	
145	日本大学	片山 悠明	1	12時16分30秒	
146	朝日大学	船木 浩太郎	2	12時17分00秒	
147	明星大学	遠藤 大樹	1	12時17分30秒	
148	東京大学	長尾 春輝	2	12時18分00秒	
149	慶應義塾大学	南山 航介	2	12時18分30秒	
150	朝日大学	三谷 海斗	2	12時19分00秒	
151	日本大学	峠 龍之介	1	12時19分30秒	
152	立命館大学	中江 真也	1	12時20分00秒	
153	日本体育大学	池田 翔元	1	12時20分30秒	
154	朝日大学	千葉 俊輔	2	12時21分00秒	
155	立教大学	吉川 海斗	1	12時21分30秒	
156	早稲田大学	下瀬 結仁	1	12時22分00秒	
157	日本大学	藤澤 勇聡	1	12時22分30秒	
158	朝日大学	大城 朝海	1	12時23分00秒	
159	慶應義塾大学	寺田 伊織	1	12時23分30秒	
160	明星大学	山下 哲平	1	12時24分00秒	
161	東京大学	下平 一貴	2	12時24分30秒	
162	朝日大学	竹口 要	1	12時25分00秒	
インターバル					
163	日本大学	近藤 浩太	1	12時35分00秒	
164	関西大学	中元 夢来	2	12時35分30秒	
165	日本体育大学	佐藤 旭	1	12時36分00秒	
166	朝日大学	浮田 莉玖	1	12時36分30秒	
167	鹿屋体育大学	上田平 浩志	3	12時37分00秒	
168	慶應義塾大学	高島 和真	1	12時37分30秒	
169	日本大学	小林 岳央	1	12時38分00秒	
170	朝日大学	佐瀬 敢太	1	12時38分30秒	
171	明治大学	辻 光之介	1	12時39分00秒	
172	京都産業大学	山口 順也	3	12時39分30秒	
173	立命館大学	八村 勇聖	1	12時40分00秒	
174	朝日大学	菅原 彪雅	1	12時40分30秒	
175	日本大学	黒澤 響牙	1	12時41分00秒	
176	明治国際医療大学	山下 歩	2	12時41分30秒	
177	関西大学	西口 恵唯	1	12時42分00秒	
178	慶應義塾大学	吉川 蒼大	1	12時42分30秒	
179	鹿屋体育大学	畑 祐太郎	1	12時43分00秒	

# 立哨観察員・お知らせ看板 配置図及び指定PIT設置場所 (下流の折り返し地点から順番に表示しております 配置図1～8まで)

## 指定 PIT において

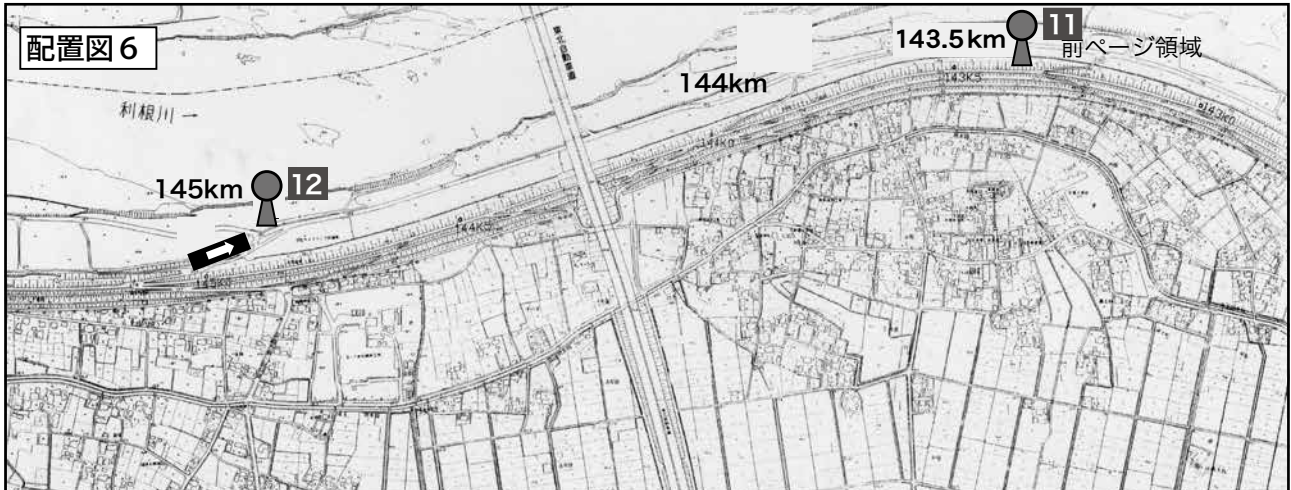
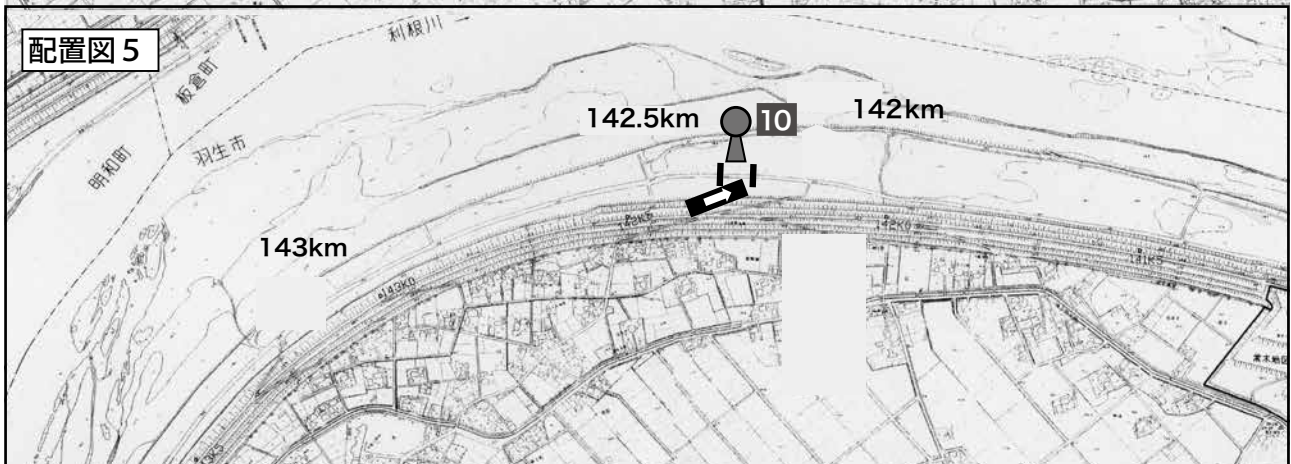
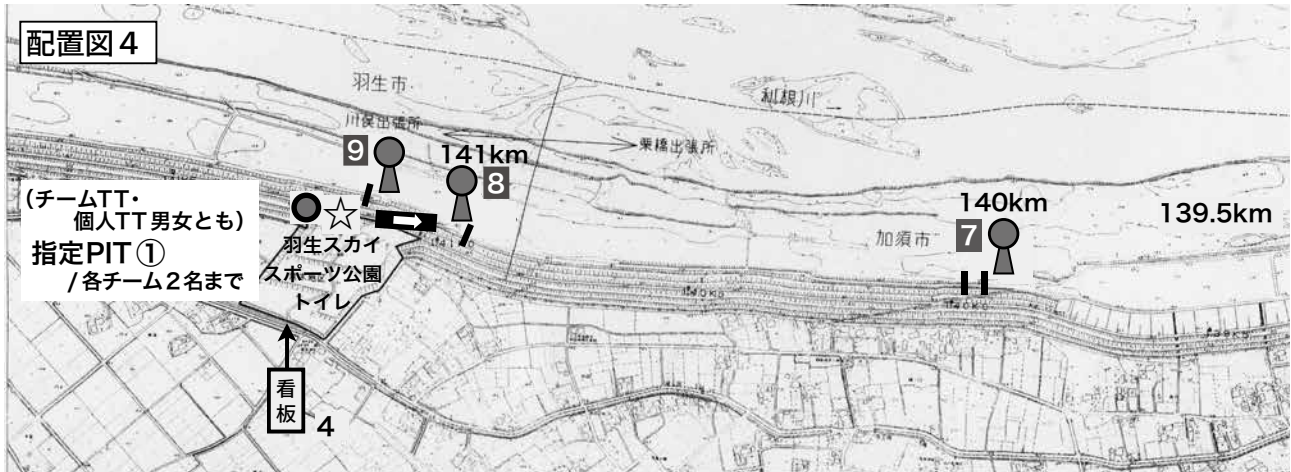


6月8日(土)・6月9日(日) 8時から17時  
 利根川河川敷内工事用道路にて自転車競技大会開催のため  
 堤防内側への横断が制限されますので、ご協力お願いいたします。  
 日本学生自転車競技連盟



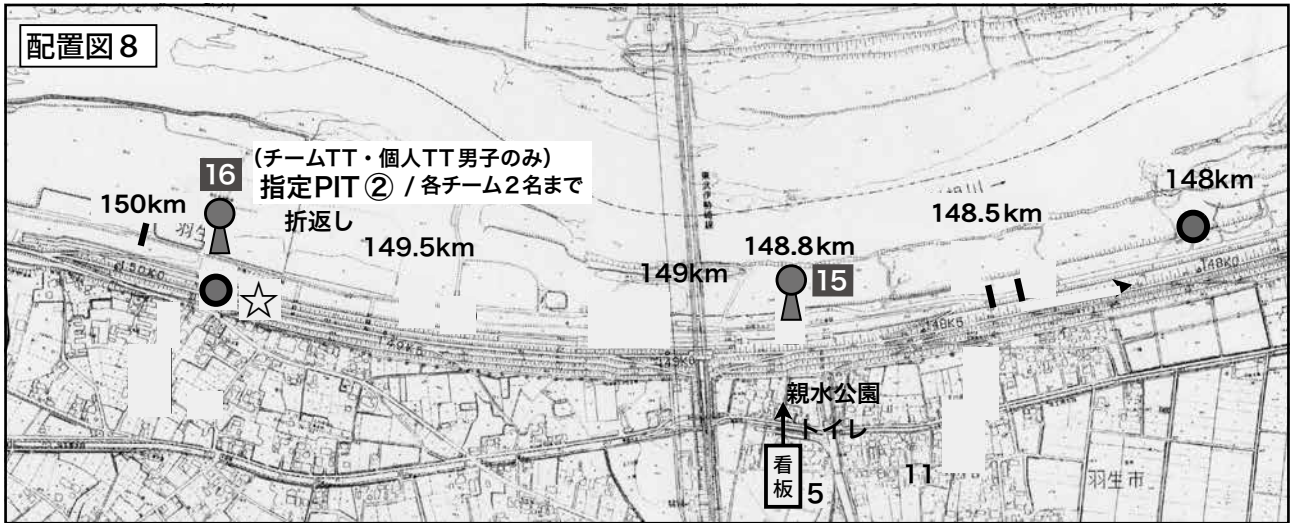


# 立哨観察員・お知らせ看板 配置図及び PIT 設置場所





## 立哨観察員・スペア車輪(参加校・学連)・お知らせ看板配置図

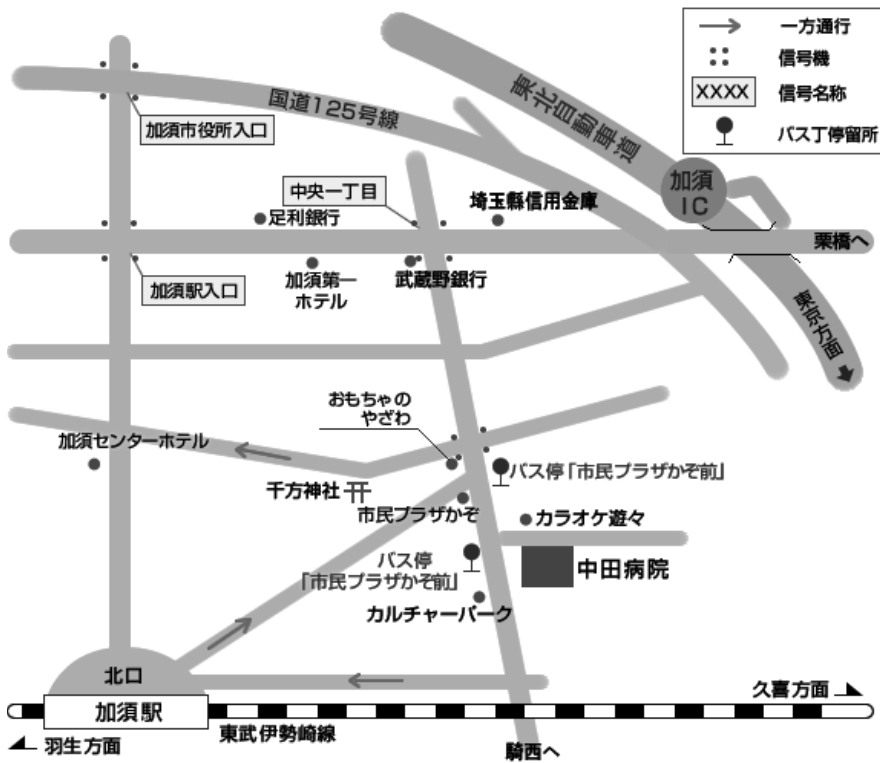


## 救急病院案内図

医療法人社団 弘人会中田病院

〒347-0065 埼玉県加須市元町 6-8

電話 0480-61-3122



全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 歴代優勝チーム一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	氏名	大学名	タイム
1	1962.10.7	八王子市 五輪コース	110km	赤松 俊郎	平山 忠宇喜	日本大学A	3:16'20"40
2	1963.3.22	八王子市 野猿峠	110km	佐藤 栄	班目 秀雄	日本大学A	7:35'03"85
3	1964.3.14	八王子市 加住周回	110km	赤松 俊郎	高瀬 秀宏	日本大学A	7:14'55"80
4	1965.3.21	富士SW	84km	高橋 耕作	福原 広次	日本大学A	2:26'16"15
5	1966.3.26	秋多町	110km	福原 広次	清水 弘裕	日本大学B	3:09'59"90
6	1967.3.30	富士SW	90km	高橋 耕作	班目 秀雄	日本大学A	2:36'22"30
7	1968.3.24	富士SW	90km	高橋 耕作	久保 義春	日本大学A	2:39'34"00
8	1969.3.28	富士SW	90km	福原 広次	宗玄 清蔵	日本大学A	2:34'50"90
9	1970.11.18	富士SW	90km	児玉 清俊	似内 進	日本大学A	2:26'29"40
10	1971.11.18	富士SW	90km	三好 真人	長沢 義明	日本大学B	2:27'48"90
11	1972.11.16	富士SW	90km	早狩 嘉悦	児玉 清俊	日本大学A	2:26'44"50
12	1973.11.26	日本CSC	60km	宗玄 清蔵	似内 進	日本大学A	1:28'30"00
13	1974.11.11	富士SW	90km	似内 進	千葉 健一	日本大学A	2:27'30"20
14	1975.11.10	富士SW	90km	宮一 透	加藤 良太郎	日本大学A	2:27'07"06
15	1976.11.15	富士SW	90km	宮一 透	葛西 新蔵	日本大学A	2:25'11"60
16	1977.11.7	富士SW	90km	阿部 正人	菅原 善憲	日本大学A	2:22'24"00
17	1978.11.6	富士SW	90km	宮一 透	入間川 勉	法政大学A	2:22'49"60
18	1979.11.5	富士SW	90km	阿部 正人	菅原 善憲	中央大学A	2:22'29"01
19	1980.11.11	富士SW	90km	長谷部 雅幸	佐藤 雄進	中央大学A	2:16'15"64
20	1981.11.16	日本CSC	60km	阿部 正人	菅原 善憲	中央大学A	1:34'15"83
21	1982.11.11	日本CSC	60km	林 義忠	菊地 隆	日本大学	1:45'09"98
22	1983.11.12	群馬CSC	90km	阿部 正人	杉田 典夫	日本大学	2:16'59"26
23	1984.11.10	群馬CSC	90km	菊地 隆	藤原 富美男	日本大学	2:15'39"13
24	1985.10.5	群馬CSC	90km	杉田 典夫	布田 英明	日本大学A	2:13'39"29
25	1986.10.25	日本CSC	60km	布田 英明	藤原 富美男	日本大学A	1:42'49" 00
26	1987.10.4	千葉ニュータウン	92.5km	杉田 典夫	小笠原 嘉	日本大学A	2:02'19"38
27	1988.10.2	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	96km	小笠原 嘉	小笠原 義明	日本大学	2:13'37"36
28	1989.10.22	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	100km	小笠原 義明	小笠原 義明	日本大学	2:24'53"83
29	1990.10.28	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	小笠原 義明	日本大学	2:25'49"22
30	1991.10.27	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	小笠原 義明	日本大学	2:19'52"35
31	1992.6.28	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	小笠原 義明	日本大学	2:19'16"78
32	1993.6.13	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	小笠原 義明	日本大学	2:20'57"78
33	1994.6.5	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	小笠原 義明	日本大学	2:17'43"32
34	1995.6.25	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	小笠原 義明	日本大学	2:20'14"11
35	1996.6.23	福島県泉崎村一 岩瀬郡鏡石町	102km	小笠原 義明	小笠原 義明	早稲田大学	2:16'10"00
36	1997.6.22	秋田県大湯村 ロード・タイム	93.768km	小笠原 義明	小笠原 義明	中央大学	2:05'49"23

全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会 歴代優勝チーム一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	氏名	大学名	タイム
37	1998.6.13	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93.768km	高橋 秀作 鈴木 信也	玉木 伸雄 坂本 信也	日本大学	2:03'02"39
38	1999.6.19	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93.768km	高橋 秀作 佐藤 益尚	玉木 伸雄 坂本 信也	日本大学	2:03'28"17
39	2000.6.24	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93.768km	高島 徹 岩本 晋也	鈴木 涼平 阿部 秀樹	中央大学	2:06'43"91
40	2001.6.23	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93.768km	森 誠二 圓谷 崇	西谷 泰治 普久原 奨	日本大学	2:06'38"71
41	2002.6.22	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93.768km	森 誠二 圓谷 崇	西谷 泰治 盛 一大	日本大学	2:07'45"06
42	2003.6.14	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93km	小笠原 豪 普久原 奨	明珍 多久雄 盛 一大	日本大学	2:02'59"95
43	2004.6.12	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93km	大野 涼太 高島 豪	小林 彰夫 檜原 稔明	中央大学	2:02'11"49
44	2005.6.11	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	93km	大野 涼太 高島 豪	小林 彰夫 長江 寿也	中央大学	2:01'17"16
45	2006.7.8	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	90km	立里 匡道 守澤 太志	根本 哲史 湯浅 徹	明治大学	2:00'54"27
46	2007.6.30	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	90km	内間 康平 角 令央奈	伊藤 雅和 村上 純平	鹿屋体育大学	1:59'27"83
47	2008.6.28	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	90km	山本 貴洋 大庭 伸也	兼平 純 窪木 一茂	日本大学	1:59'57"85
48	2009.6.20	秋田県大潟村 ソーラースポーツライン	90km	堀内 俊介 石田 正樹	清水 一弘 郡司 昌紀	中央大学	1:59'00"27
49	2010.6.19	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	100km	伊藤 雅和 吉田 隼人	内間 康平 山本 元喜	鹿屋体育大学	2:11'33"21
50	2011.6.4	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	100km	野中 竜馬 山本 元喜	野口 正則 徳田 鍛造	鹿屋体育大学	2:09'41"29
51	2012.6.2	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	94km	郡司 昌紀 高士 拓也	黒瀬 耕平 緑川 竣一	中央大学	2:01'56"64
52	2013.6.1	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	94km	山本 元喜 石橋 学	橋本 英也 原田 裕成	鹿屋体育大学	2:03'53"37
53	2014.5.25	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	62.4km	石橋 学 徳田 優	徳田 鍛造 山本 大喜	鹿屋体育大学	1:17'01"65
54	2015.5.31	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	62.4km	原田 裕成 山本 大喜	徳田 優 富尾 大地	鹿屋体育大学	1:23'04"67
55	2016.5.28	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	62.4km	徳田 優 富尾 大地	山本 大喜 松本 憲斗	鹿屋体育大学	1:18'25"77
56	2017.6.3	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	原井 博斗 今村 駿介	高橋 優斗 直井 駿太	中央大学	1:17'14"20
57	2018.6.2	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	直井 駿太 奥村 十夢	今村 駿介 山本 哲央	中央大学	1:17'19"76
58	2019.6.1	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	小嶋 健太 片桐 東次郎	兒島 直樹 仮屋 和駿	日本大学	1:18'46"73
59	2021.6.5	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	山本 哲央 中村 龍吉	五十嵐 洸太 留目 夕陽	中央大学	1:16'19"97
60	2022.6.4	埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷	63.2km	金子 宗平 吉田 頌	篠崎 蒼平 長坂 和輝	東京大学	1:17'00"77
61	2023.6.3	台風の影響による前日の豪雨で、コースの一部及び選手用駐車場が水没したため大会開催中止					

第60回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

2022年6月4日(土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷特設コース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟

1位	東京大学	金子 宗平	吉田 頌	篠崎 蒼平	長坂 和輝	1:17'00"77
2位	朝日大学	森田 一郎	長谷川 大悟	伊豆野 廉	山本 大智	1:19'01"78
3位	日本大学	仮屋 和駿	生野 優翔	岡本 勝哉	北嶋 桂大	1:19'14"23
4位	京都産業大学	上野 颯斗	矢萩 悠也	中村 栄杜	廣中 聖	1:20'02"63
5位	早稲田大学	美甘 星次郎	中野 大詞	大仲 凜功	神村 泰輝	1:20'04"57
6位	中央大学	五十嵐 洸太	津石 康平	留目 夕陽	釜田 佳典	1:20'33"90
7位	日本体育大学	松原 颯祐	川田 真也	松岡 優馬	北村 翔太	1:20'40"78
8位	鹿屋体育大学	古谷田 貴斗	馬場 慎也	伊澤 将也	津留 峻	1:20'55"04

## 全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 歴代男子優勝者一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	大学名	タイム
(1)	1989.10.21	福島県西郷村公道	10km	住田 修	立命館大学	14'35"24
(2)	1990.10.27	福島県西郷村公道	10km	小端 康弘	新潟大学	15'28"29
(3)	1991.10.26	福島県西郷村公道	8km	岡本 健	日本大学	12'04"02
(4)	1992.6.27	福島県西郷村公道	8km	米内 浩司	日本大学	11'50"78
(5)	1993.6.12	福島県西郷村公道	8km	権丈 泰巳	日本大学	11'57"93
(6)	1994.6.5	福島県西郷村公道	8km	狩野 智也	法政大学	11'37"07
(7)	1995.6.24	福島県西郷村公道	8km	狩野 智也	法政大学	11'21"58
(8)	1996.6.22	福島県西郷村公道	8km	及川 進	日本大学	11'27"48
(9)	1997.6.22	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	林 雄生	早稲田大学	43'26"50
(10)	1998.6.14	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	坂本 信也	日本大学	42'53"88
(11)	1999.6.20	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	坂本 信也	日本大学	42'43"12
(12)	2000.6.25	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	清水 都貴	鹿屋体育大学	41'06"288
(13)	2001.6.24	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	清水 都貴	鹿屋体育大学	41'47"764
(14)	2002.6.23	大潟村ソーラースポーツライン	31.256km	明珍 多久雄	日本大学	42'05"653
(15)	2003.6.15	大潟村ソーラースポーツライン	31km	明珍 多久雄	日本大学	41'08"784
(16)	2004.6.13	大潟村ソーラースポーツライン	31km	小玉 齋明	北海道大学	42'00"940
(17)	2005.6.12	大潟村ソーラースポーツライン	31km	三瀧 光誠	鹿屋体育大学	42'14"429
(18)	2006.7.9	大潟村ソーラースポーツライン	30km	村上 純平	鹿屋体育大学	41'59"471
(19)	2007.7.1	大潟村ソーラースポーツライン	30km	太田 貴明	京都産業大学	40'26"001
(20)	2008.6.29	大潟村ソーラースポーツライン	30km	辻本 翔太	順天堂大学	40'14"042
(21)	2009.6.21	大潟村ソーラースポーツライン	30km	西園 良太	東京大学	40'57"911
(22)	2010.6.20	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	21km	西園 良太	東京大学	27'54"257
(23)	2011.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	33.2km	佐々木 龍	早稲田大学	41'25"462
(24)	2012.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	33.2km	安井 雅彦	東京大学	40'50"684
(25)	2013.6.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	山本 元喜	鹿屋体育大学	39'45"507
(26)	2014.11.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	山本 大喜	鹿屋体育大学	41'14"117
1 (27)	2015.6.7	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	山本 大喜	鹿屋体育大学	41'24"260
2 (28)	2016.5.29	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	30.8km	池邊 聖	慶應義塾大学	40'42"347
3 (29)	2017.6.4	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	山本 大喜	鹿屋体育大学	41'09"629
4 (30)	2018.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	大前 翔	慶應義塾大学	40'00"152
5 (31)	2019.6.1	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	今村 駿介	中央大学	39'33"546
RCS (32)	2020.11.15	加須市 利根川上流河川敷	13.0km	關根 論容	日本体育大学	16'53"645
6 (33)	2021.6.6	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	留目 夕陽	中央大学	38'34"573
7 (34)	2022.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	31.2km	留目 夕陽	中央大学	37'42"034
8 (35)	2023.6.4	台風の影響による前々日の豪雨で、コースの一部及び選手用駐車場が水没したため大会開催中止				

※回数( )内の数字は大会通算の回数です。



全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会 歴代女子優勝者一覧

回数	開催日	開催地	距離	氏名	大学名	タイム
(1)	1989.10.21	福島県西郷村公道		女子参加者なし		
(2)	1990.10.27	福島県西郷村公道	10km	船水 雅子	早稲田大学	18'59"61
(3)	1991.10.26	福島県西郷村公道	8km	山本 明栄	中京大学	14'21"06
(4)	1992.6.27	福島県西郷村公道	8km	山本 明栄	中京大学	13'55"49
(5)	1993.6.12	福島県西郷村公道	8km	大場 貴子	中京大学	14'03"67
(6)	1994.6.5	福島県西郷村公道	8km	大場 貴子	中京大学	14'16"47
(7)	1995.6.24	福島県西郷村公道	8km	石本 倫子	関西大学	14'03"95
(8)	1996.6.22	福島県西郷村公道	8km	大場 美貴	中京大学	14'03"73
(9)	1997.6.22	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	24'15"66
(10)	1998.6.14	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	22'53"13
(11)	1999.6.20	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	22'03"83
(12)	2000.6.25	大潟村ソーラースポーツライン	15km	大塚 歩	筑波大学	22'02"85
(13)	2001.6.24	大潟村ソーラースポーツライン	15km	中村 珠藻	順天堂大学	23'05"77
(14)	2002.6.23	大潟村ソーラースポーツライン	15km	中村 珠藻	順天堂大学	23'17"852
(15)	2003.6.15	大潟村ソーラースポーツライン	15km	中村 珠藻	順天堂大学	23'41"070
(16)	2004.6.13	大潟村ソーラースポーツライン	15km	宮崎 杏菜	鹿屋体育大学	23'38"146
(17)	2005.6.12	大潟村ソーラースポーツライン	15km	萩原 麻由子	鹿屋体育大学	23'04"830
(18)	2006.7.9	大潟村ソーラースポーツライン	15km	和田見 里美	中京大学	23'20"906
(19)	2007.7.1	大潟村ソーラースポーツライン	15km	石井 寛子	明治大学	23'03"232
(20)	2008.6.29	大潟村ソーラースポーツライン	15km	萩原 麻由子	鹿屋体育大学	21'47"764
(21)	2009.6.21	大潟村ソーラースポーツライン	15km	川又 千裕	鹿屋体育大学	22'31"305
(22)	2010.6.20	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	21km	明珍 裕子	朝日大学	32'40"770
(23)	2011.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	田中 まい	日本体育大学	35'49"876
(24)	2012.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	小島 蓉子	日本体育大学	37'41"272
(25)	2013.6.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	小島 蓉子	日本体育大学	37'32"947
(26)	2014.11.2	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	坂口 聖香	日本体育大学	39'00"178
1 (27)	2015.6.7	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	江藤 里佳子	鹿屋体育大学	39'04"736
2 (28)	2016.5.29	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	古山 稀絵	日本体育大学	38'13"533
3 (29)	2017.6.4	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	梶原 悠未	筑波大学	37'53"340
4 (30)	2018.6.3	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	福田 咲絵	慶應義塾大学	37'13"485
5 (31)	2019.6.1	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	福田 咲絵	慶應義塾大学	36'01"642
RCS (32)	2020.11.15	加須市 利根川上流河川敷	13.0km	鈴木 保乃華	法政大学	20'53"881
6 (33)	2021.6.6	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	渡部 春雅	明治大学	36'23"466
7 (34)	2022.6.5	加須市・羽生市 利根川上流河川敷	25.2km	岩元 杏奈	日本体育大学	36'14"740
8 (35)	2023.6.4	台風の影響による前々日の豪雨で、コースの一部及び選手用駐車場が水没したため大会開催中止				

※回数の( )内の数字は大会通算の回数です。

# 加盟校・大会参加選手募集

あなたも母校のユニフォームを着てサイクル・レースを走りませんか？

詳しくは [http://jicf.info/about\\_jicf/kamei\\_touki/](http://jicf.info/about_jicf/kamei_touki/) をご覧ください。

また、「全日本学生ロードレースシリーズ」では加盟前の学生でも参加可能なオープン参加部門を設けている大会も多数あります。同シリーズでは地元の協力により賞品多数。この機会にチャレンジを。

## 2024 年度日本学生自転車競技連盟「賛助会員」募集中

日本学生自転車競技連盟憲章並びに事業の主旨にご賛同頂ける「賛助会員」を募集しております。

入会資格、賛助会費額、入会方法等の詳細につきましては、

本連盟ホームページのサイト <https://jicf.info/18668/> からご確認ください。

尚、会員特典として以下の特典があります。

- (1) 本連盟主催大会会場にお越しの際に、大会プログラムをご用意いたします。
- (2) 本連盟主催大会プログラムへの会員名称の記載をいたします。
- (3) 本連盟が主催する講習会・シンポジウム・セミナー等への優先参加ができます。
- (4) その他諸種の情報サービスの提供を行います。

皆様のご入会をいつでも歓迎いたしますので、本連盟のホームページを一度ご覧ください。

### 賛助会員一覧

足立 一 真	塩 出 和 也	古 川 利 勝	村 岡 功
荒 川 和 宏	瀧 浪 勝 弥	細 谷 康	森 川 和 之
井 上 由 大	中 川 敏 彦	増 子 智 大	山 崎 好 弘
倉 田 達 樹	西 島 良 男	三 浦 拓 郎	
古 賀 岳 文	長谷川 哲 也	宮 崎 啓	

<法人>

万葉建設株式会社

株式会社 Realize

2024 年 5 月 20 日現在（敬称略・50 音順）

賛助会員の皆様、ご協力ありがとうございます。

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

**日本学生自転車競技連盟 JICF**

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

TEL 090-2207-2369 FAX 03-6804-2329  
E-mail:jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>

製作・表紙：(有) 荒井松文堂印刷所

TIPSTAR DOME CHIBA は、自転車競技の国際規格である木製 250mトラックを備える自転車競技場です。  
国際ルールに基づいて行われる競輪『PIST6(ピストシックス)』が開催されているほか、  
学生や実業団の自転車競技大会、練習会にもご利用いただけます。  
個人、チームのスキルアップにぜひご活用ください。

# 国際基準の屋内型 250mトラック

# TIPSTAR DOME CHIBA

(千葉 JPF ドーム)



## 貸出・利用予約受付中!



### ACCESS

〒260-0045 千葉県千葉市中央区弁天 4-1-1

千葉都市モノレール

「千葉公園駅」より徒歩 2分

JR線

「千葉駅」より徒歩 15分

**駐車場有** ※PIST6 開催時・ドーム利用で利用可能な駐車場が異なります。詳しくはお問い合わせください。

お問合せ：株式会社 JPF / 株式会社 PIST6 ☎ 043-331-6678 ✉ support@ml.pist6.co.jp



主催：千葉市

## 千葉発、日本初、世界基準のサイクルトラックレース

※「PIST6 Championship」は千葉市が行う250競走の呼称です

※20歳未満は車券の購入ができません

<https://www.pist6.com/top/>

PIST6 QR







## エアスピード シリーズ

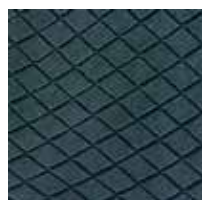
日本ナショナルチームや国内プロチームも採用しているトップモデル



エアスピード ジャージ



エアスピード ビブパンツ



### SPEED SENSOR® II

ロードバイクの有効速度域に特化して開発した空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」風洞実験を繰り返し、レースの速度域で最も空気抵抗の軽減効果が高まる素材を、最も効果的な位置に採用。



### 3D-X

着用感の少ないフィット感と柔らかなクッション性を両立させた「3D-X」パッド。衝撃のかかる坐骨部分にエラストマーを採用し坐骨の底付を軽減。擦れの原因となるパッド肌面の折れや角をつくらないフラット設計。

## パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高機能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。

株式会社パールイズミ オーダーサービス課  
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-4-2  
TEL 03-3633-5461



オーダーサービスの  
ページはこちら